(建造物)



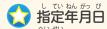
場所

・井原市井原町



時代

江戸時代



・平成14(1927)年 3月12日

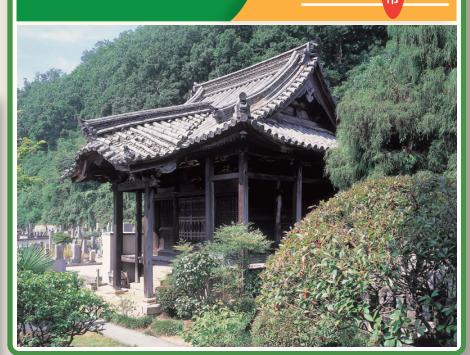
所有

善福寺

見学 見学可 しゃかどう

新高総早倉矢 井 見梁社島敷掛 市市市町市町

浅里笠 口庄岡 市町市





けん ぞう ぶつ

☆ この建造物について

このお堂は、天正年間(1570年代)、柳本八郎左衛門が、毛利家の家臣としてこの地方の領主 となり、その曾孫甚左衛門正勝が、寛文6(1666)年に寄進した、井原市にある最も古い建造物 である。

じん ぶつ ぞう ちょうこく ほどこ お堂には、ケヤキ、ツガ、クサマキを使用している。扉や梁などには、花や人物像の彫刻が施さ れ、床はうぐいす張りである。棟札には大工の名が書かれている。

善福寺は、足利尊氏が南北朝の争乱の際に立ち寄ったと伝えられるところで、足利義満が応 永3(1396)年に祈願所として建てたものである。